全国縦断＝ここにこの人あり！

㊙東海の面白ユニーク実践――探訪記

校庭にバスがやってきた

静岡大学教育学部助教授　馬居政幸

一　校庭の中のバス停

「センセー、これがバス停だよね」
「先生が作ったの、本物みたい」
「〝小学校前〟だって、すごーい」
「あれ、時間が書いてある」
「十時三十分だ」
「エー、もう十時半になるよ」

これは、**静岡県湖西市立白須賀小学校**（夏目常磐校長）の子どもたちが、校庭に置かれていたバス停を見つけたときにあげた驚きの声である。二年生の生活科の単元、「バスたんけん」の一時間目の出来事。**松木孝夫先生**が中心になって行った実践である。

子どもたちの驚きはまだまだ続く。バス停を見つけて騒ぐ子どもたちの目に、今度は本物のバスが校門を入ってくるのが見えたのである。

バスはゆっくりと先生がつくったバス停〝小学校前〟にとまった。その中から下りてきた運転手のおじさんが、「きょうは、白須賀小学校に新しいバス停ができたのでやってきました。こんなに大勢のお客さんがいて驚いています」と笑顔で子どもたちに語りかけた。子どもたちの興奮は最高潮。大拍手で応えたあと、おじさんを先生に夢中でバス探検を始めた。

生活科の内容の一つに、「乗り物や駅などの公共物の働きやそこで働いている人々の様子が分かり、安全に気をつけてみんなで正しく利用することができるようにする」とある。これに基づき全国の小学校で様々な乗り物に関する活動が実践されている。だが、本物のバスをわざわざ校庭によんでの実践は白須賀小が初めてではないか。

二　バス利用からバス探検へ

白須賀小学校の学区には鉄道の駅がなく、公共の交通機関はバスのみである。だが、多くの子どもはバスの乗り方を知らない。バスがどこを走り、どこへ行くかも知らない。

都市化した生活を支えるのは公的な交通機関ではなく私的なマイカー。おまけに湖西市は自動車工場の町。バスで通学する少数の子どもを除き、多くの子どもたちの日常生活の中からバスの世界は消えていた。

それは単に公共物の利用の仕方の未習という問題に止まらない。子どもたちの世界から、自分の目と手と足を使って自分の判断で生活する機会が失われていることでもある。このことに

気づいた松木先生は、次の三つの願いをもって生活科の活動に取り組んだ。

(1)バスとの出会いを感動的なものにして、〝バスという乗り物の空間〟に関心を持たせたい。

(2)バスに乗って行く目的地を子どもたち自身で選択でき、そのためにルートや日程を〝自分たちで探る〟ことができるような支援を施したい。

(3)一人一人がこだわりを持って目的地までの〝探検（たび）〟を進めることができるようにしたい。

そして、次のような実践を試みた。

①「バスをたんけんしよう」（二時間）／・本物のバスに来校してもらって、実際に見たり触れたり聞いたりして「バスのひみつ」「バスのふしぎ」を見つけ合い、「バス地図」を描く。

②「バスていさがしをしよう」（四時間）／・実際のバス路線に乗って行く場所を決める。／・目的地にいくためのルートや日程を決めるために、グループでバス停探検を行って調べる。

③「バスに乗って〝たび〟をしよう」（四時間）／・グループの日程に従い路線バスを利用し目的地と学校を往復する。／・目的地で木の葉や木の実を採ったり遊具で遊んだりするなどグループの計画にそって遊びを楽しむ。

④「〝たび〟のまきものをつくろう」（二時間）／・自分の〝たび〟の道筋を振り返り、「たんけんまきもの地図」を作る。

三　三つのポイント

松木先生は、この活動の成否は子どもが本物のバスを探検できるかどうかにあると考えた。そのため先生は無理を承知（ダメモト）でバス会社を訪問した。ところが、バス会社の方たちは既に生活科の内容に公共機関を利用する活動があることを知っていた。しかも学校へのバスの配車を快く約束してくれた。それも無料であった。

その結果、実現したのが冒頭に紹介した子どもたちの驚く姿である。

この本物のバスの探検で培ったバス利用のノウハウやバスの旅への興味関心に支えられ、子どもたちは勇んで学区のバス停探検に出発。バスの行き先や時刻を地図の上でつなぎ合わせて、「たび」の準備にとりかかった。

この授業の面白さのポイントは三つあると考える。

一つは、いうまでもなく、バス、バス停、バス路線と、一貫して本物にこだわったことである。二つは、この単元を、通常のバスの利用の仕方の学習ではなく、〝バスたんけん〟や〝バスていたんけん〟とし、さらにはバスの〝たび〟ととらえた活動づくりのコンセプトのユニークさである。三つは、「バス地図づくり」や「たんけんまきもの地図づくり」により、活動成果を一人一人に還元したことである。

授業研究　1993年12月号／№404

特集　授業を面白くする！アイデア大集合

どんな授業を面白いと思うか―と聞かれたら……有田和正／市毛勝雄／小西正雄……九

■全国縦断＝ここにこの人あり！　面白ユニーク実践探訪記

北海道の面白ユニーク実践探訪記……安藤豊……一〇
東北の面白ユニーク実践探訪記……長南博昭……一二
関東の面白ユニーク実践探訪記……柳瀬修……一四
信越の面白ユニーク実践探訪記……金子智……一六
東海の面白ユニーク実践探訪記……馬居政……一八
北陸の面白ユニーク実践探訪記……水上幸……二〇
近畿の面白ユニーク実践探訪記……森義行……二二
四国の面白ユニーク実践探訪記……池田一夫……二四
中国の面白ユニーク実践探訪記……片上孝徳……二六
九州の面白ユニーク実践探訪記……寺尾宗二……二八
沖縄の面白ユニーク実践探訪記……仲田慎一……三〇

■教室環境・イメージチェンジのアイデア

低学年の教室環境・イメージチェンジのアイデア……小林篤史……三二
中学年の教室環境・イメージチェンジのアイデア……山口政之……三四
高学年の教室環境・イメージチェンジのアイデア……本田毅……三六
中学校の教室環境・イメージチェンジのアイデア……山崎雄史……三八

■楽しい教師のパフォーマンスアイデア

低学年楽しい教師のパフォーマンスアイデア……長谷山恵子……四〇
中学年楽しい教師のパフォーマンスアイデア……石川創末……四二
高学年楽しい教師のパフォーマンスアイデア……福山憲市……四四
中学校楽しい教師のパフォーマンスアイデア……大谷伸一……四六

■導入を面白くするアイデア

国語の導入を面白くするアイデア……椿原正和……四八
社会の導入を面白くするアイデア……奥崎彰裕……五〇
算数の導入を面白くするアイデア……山岸寛也……五二
理科の導入を面白くするアイデア……森康行……五四

■黒板の使い方を面白くするアイデア

国語黒板の使い方を面白くするアイデア……好光幹雄……五六
社会黒板の使い方を面白くするアイデア……小林宏己……五八
算数黒板の使い方を面白くするアイデア……主税保……六〇
理科黒板の使い方を面白くするアイデア……井殿恵二……六二

■教科書の使い方を面白くするアイデア

国語教科書の使い方を面白くするアイデア……伊藤彰敏……六四
社会教科書の使い方を面白くするアイデア……高橋誠……六六
算数教科書の使い方を面白くするアイデア……酒匂昌二郎……六八
理科教科書の使い方を面白くするアイデア……鈴木洋……七〇

■子どもの学習態度を変える面白アイデア

低学年子どもの学習態度を変えるアイデア……田中千勢子……七二
中学年子どもの学習態度を変えるアイデア……佐藤幸司……七四
高学年子どもの学習態度を変えるアイデア……吉田博実……七六
中学校子どもの学習態度を変えるアイデア……山本誠……七八

■教材教具の活用・面白アイデア

国語教材教具の活用・面白アイデア……谷賢一……八〇
社会教材教具の活用・面白アイデア……藤川清文……八二
算数教材教具の活用・面白アイデア……小野一樹……八四
理科教材教具の活用・面白アイデア……内田淳一……八六

■テストのやり方・面白味付けのアイデア○例

国語テストのやり方・面白味付けのアイデア……大森修……八八
社会テストのやり方・面白味付けのアイデア……青柳滋……九〇
算数テストのやり方・面白味付けのアイデア……河上豊……九二
理科テストのやり方・面白味付けのアイデア……村越昌昭……九四

■宿題を面白くするアイデア○例

国語宿題を面白くするアイデア……吉川芳則……九六
社会宿題を面白くするアイデア……渡部栄二……九八
算数宿題を面白くするアイデア……菊池桐夫……一〇〇
理科宿題を面白くするアイデア……相坂俊……一〇二

■ワンポイント主張！"この方式"で授業はどれだけ面白くなるか

ディベート方式で授業はどれだけ面白くなるか……杵渕真……一〇四
提案する社会科で授業はどれだけ面白くなるか……茂松清志……一〇六
オープンエンドで授業はどれだけ面白くなるか……坪田耕三……一〇八

学校にコンピュータがやってきた！〈9〉◉中條典子◉……二六

往復書簡　教室で考える"指導の難問題"〈9〉
自学と授業――どう関連づける方法があるのか
◉往信　岩下修◉……二三
返信　落合幸子◉……二五

ケッコー博士の学習クリニック〈9〉◉黒崎宏一◉……二四

実践研究情報◉香川大学教育学部附属高松中学校◉……三二

わがクラスのベストセラーズ⑨◉内海俊行◉……三六

連載講座

●研究会案内●　第五回学級づくり上達講座（三五）／静岡県浜松市立北小学校（七）

＊表紙写真：モントレ　＊扉：敬語の使い方クイズ―あなたも間違ってる？＊野口芳宏
＊表2・グラビア：クローズアップ＝教師の技をフォーカスする＊森成美
＊表3・4：教室を楽しく⑨＊吉川廣二
＊目次：写真＊新潟県佐渡郡真野町立西三川小学校＊渡部栄二

①教室前面。アクロスティックでめあてを。

②都道府県白地図や各種プロの名前カード。

③学級の歴史としてカードが増えていく。

④学級10人の，小さな学校です。